

## 作成のPoint

- 全体のねらい達成に向け、長期間のキャンプを4つのステージに分けて設定する
- 活動の羅列にならないように、ステージのねらいに合わせて組む
- ひと目で分かるように1枚のシートにまとめる

「粘り強く取り組み、主体的に生き抜く子供の育成」のため、キャンプをとおして、「最後までやり遂げる力」を核とした、次の3つの力を養う。

**かかわる力**

**感じる力**

**見つめる力**

## ③ CHALLENGE STAGE チャレンジステージ

困難なサイクリングに対し、あきらめずに挑戦する。また、仲間と話し合ってルートを決め、やり抜くことにより、仲間の大切さを実感する

### 主体的に生き抜く力の育成

#### ◇かかわる力

- 困難なことに対し、仲間とともに立ち向かっていることを実感し、互いのよさを認め合う
- 仲間と励まし合いながらサイクリングに取り組む

#### ◇感じる力

- 仲間の励ましで頑張れたことを実感し、感謝する
- やり抜いた自分の頑張りに気付く

#### ◇見つめる力

- あきらめないで、最後までやり遂げる
- チームで話し合って選択ルートを決め、自分たちで判断して行動する

5 8 / 4

6 8 / 5

7 8 / 6

8 8 / 7

9 8 / 8

- 白山青年の家プログラム (竹細工・流しそうめん)
- サイクリング
  - 白山青年の家→国能青
  - 国能青→松島オートキャンプ場 (選択ルート)
  - 松島オートキャンプ場→能登少年自然の家 (選択ルート)
- 能登少年自然の家プログラム (大型カヌー)
  - ふりかえり、ボランティア企画

### スタッフのかかわり方

- 公道の安全な走り方を指導し、安全面に留意する
- 子供の体力的な様子に目を配り、体調の変化の把握に努める
- 子供の意欲を高め、自発的な励まし合いが出るような支援方法を探る
- 選択ルートでは、子供たちの話し合う姿を見守り、その決断を尊重することを前提に支援に当たる。ここでの判断力の育成を念頭に置き、子供の様子を観察する
- 仲間、家族、スタッフへの思いを巡らす時間を意図的に設定することにより、自己肯定感をもったり、周囲の人と支え合っている自分に気付いたりするように促す

## ① ENCOUNTER STAGE 出会いのステージ

これからの活動に対し、新しく出会った仲間とともに、前向きに取り組んでいこうとする意欲をもつ

### 主体的に生き抜く力の育成

#### ◇かかわる力

- 初めて出会う仲間とかかわり、進んで話をする
- チームの仲間とともに、目当てについて話し合う

#### ◇感じる力

- 仲間も同じ思いをもって参加していることを感じる
- チームで団結して登山しようという気持ちをもつ

#### ◇見つめる力

- 自分が目的をもって参加していることを意識する
- 指示を聞き、自分で考えて登山の準備をする

プレ 7 / 17

① 7 / 31

- 事前説明会
  - キャンプの概要
  - サイクリング練習
- 開講式
- グループワーク
- 登山指導
  - 歩き方指導他、パッキング

### スタッフのかかわり方

- 意図的にグループに入り、子供同士の積極的なかかわりを促す声かけをすることで緊張をほぐす
- 子供たちに笑顔で接し、ともに頑張っていこうという前向きな言葉をかける
- スタッフ同士、子供同士、スタッフと子供でキャンプネームで呼び合う雰囲気を作る
- 旗作りや振り返りカードへの記入の仕方を指導し、継続的な振り返りを充実させる
- 集団生活のルールや公共マナーについて指導し、意識付けを行う
- 個の特徴をつかみ、記録を取る

## 活用のPoint

- ・全スタッフが持つ「記録用ノート(野帳)」に貼り付け、常備する
- ・参与観察や活動支援の際、ねらいに沿った対応を心がける
- ・スタッフミーティングの際、特にステージの切り替わりで、ねらいやスタッフのかかわり方等を確認する

# ねばり強く取り組み、主体的に生き抜く子供の育成

## ④ STARTING STAGE 旅立ちのステージ

全日程をやり遂げた達成感を感じるとともに、自分の成長を見つめ、これからの自分の生き方について考える

### 主体的に生き抜く力の育成

#### ◇かかわる力

- ・最後のサイクリングを、仲間と声をかけ合ってゴールする
- ・周囲の支えを意識しながら、自分の言葉で感想を伝える

#### ◇感じる力

- ・辛かった時の仲間の存在の大切さを感じ、これからも仲間を大切にしていこうという気持ちをもつ

#### ◇見つめる力

- ・最後まで頑張り抜いた自分を見つめ、成長を実感する

10 8/9 11 8/10

- サイクリング
  - ・能登少年自然の家→禄剛崎灯台
- ふりかえり
- 閉講式
- 最後の昼食

### スタッフのかかわり方

- 子供の気持ちがゴールに向けて高まっていくような言葉がけを心がける
- キャンプ当初のころの自分を想起させ、やり抜いたことに対する自信をもたせる
- 片付けを通して、最後まで感謝の気持ちをもってやり遂げる気持ちを高める
- キャンプが終わっても、これからの自分に対し、どのように生かしていきたいか、しっかりと考えさせる機会を充実させる
- これからも、何事に対しても主体的に生き抜くよう言葉をかける

## ② TEAM BUILDING STAGE チーム作りステージ

同じ班の仲間と励まし合い、目的を共有しながら登山することにより、仲間意識を高め、その意識をサイクリング行程へつなげる

2 8/1 3 8/2 4 8/3

- 登山
  - ・山小屋泊(室堂)
  - ・白山山頂アタック
- 白山ろく少年自然の家プログラム(イワナつかみ)
- サイクリング 白山ろく少年自然の家→白山青年の家

### 主体的に生き抜く力の育成

#### ◇かかわる力

- ・リーダーシップ、フォロワーシップを発揮する(固定的ではない役割分担)
- ・積極的に声をかけ合い、登山をする

#### ◇感じる力

- ・仲間の存在を感じ、「集団」から「チーム」へと意識を高める
- ・登山の厳しさや自然の雄大さや美しさに気付く

#### ◇見つめる力

- ・登山では、最後まであきらめず、頑張り抜く
- ・指示されなくても、しおりを見て行動する

### スタッフのかかわり方

- 登山行程では、安全面に特に留意する
- 積極的に子供を励ます。また、子供同士が励まし合っている場面を見付け、認める
- 「集団」から「チーム」へ転換させることを意識しながら支援する
- 登山行程で身に付いた力が、イワナつかみやサイクリング行程につながっているか着目する
- 子供の人間関係について実態把握し、スタッフ間の連絡を密にして支援する
- 登山行程を終えた達成感を共有し、サイクリング行程への意欲につなげる